

《第108回》 大江6A町内子ども会 「クリスマス会」

育成会会長 持永華江、 副会長 吉田瑠美

令和6年12月1日（日）水道端公園『憩いの家』で 毎年恒例の「クリスマス会」を開催しました。

今年は妹弟、保護者を含めおよそ20人が集まりました。

最初はみんなで作るクリスマスオーナメント作り♪
プレートに好きな色を塗って作ります。



同じ柄でもそれぞれの色合いが違うので個性がでます😊 子ども達ならではのカラフルで可愛い飾りが沢山出来上がりました。

その後はじゃんけん大会。

勝ち残ったら好きな景品が貰えます。「じゃんけんぽん!」「あいこでしょ!」

「勝ったー!!」「負けた〜」など賑やかな声が飛び交い、最後まで盛り上がりました。

熊本市子ども会育成協議会からお借りした「射的」ではお目当ての景品を狙う子ども達の表情も真剣です(笑) 何度もチャレンジして欲しい景品が手に入ったときは大喜びでした。

お菓子が貰える輪投げも人気!お姉ちゃんやお兄ちゃんからアドバイスをもらいながら、小さな子ども達も楽しんでくれました♪

異学年でもみんな仲の良い子ども達。子ども会活動も年に数回と多くはありませんが、それでも毎年楽しく交流を深めています。

今年も親子で賑やかな時間を過ごせました。皆様のご協力ありがとうございました。



かわいい、綺麗なクリスマスオーナメントが出来ました。



「じゃんけんぽん」 「あいこでしょ」

《事務局から》

事務局長 白石 和典

- ① 活動報告有り難うございました。クリスマスの飾りを自分たちで作るとは、素晴らしい企画ですね。子どもたちが思い思いの色を使って、ワクワクしながらオーナメントを作っている様子が見えがえます。作品はきっと自分の宝物になる事でしょう。
- ② ジャンケン大会や射的、輪投げも大変楽しかったようですね。射的も輪投げも簡単そうですがやってみると、意外と当たらない、棒に入らないですね。だからこそ当たったり入ったりすると大喜びで盛り上がるのでしょう。「失敗の経験」も成長には必要だということでしょう。
- ③ 上級生が、小さい子どもたちにアドバイスする微笑ましい光景が見られましたね。異年齢集団の子ども会活動ならではのですね。素晴らしい交流が行われていると思います。
- ④ 昨年、一昨年の市子協総会の講演で、関西大学次世代博士研究員・東海大学非常勤講師（現在：熊本学園大助教）の田中晶子先生が「自己決定理論」に関連して、子ども会活動は「人とのつながりの中で成長する機会を与えてくれる」と話されました。正に今回のような活動でしょう。
- ⑤ 大江6 A町内子ども会の益々のご活躍と、子どもたちの健やかな成長を祈念いたします。